リスク		統制目標	(参考になるCOBITの項目)		統制の状況	整備・運用	予防・発見	手作業・自動化	整備状況			頻度		統制評価手続	評価ならびに検出事項(検出事項がある場合、その影響)	調書番号	リスク評価結果
									文書	プロセス	システム実装						
安1	情報セキュリティに関する方針、サポートするフレームワークの欠如により、情報システムの安全性・信頼性が損なわれるリスク	情報セキュリティー方針が策定され、IT統括責任者に承認されていること。	DS5.1 DS5.2	1	例)正式に文書化された「情報セキュリティーポリシー」があり、IT統括責任者を含むIT委員会で承認されている。	整備	予防	手作業	○			年	1	例)「情報セキュリティーポリシー」を閲覧し、IT統括責任者を含むIT委員会で承認されていることを確認する。			
		情報セキュリティー方針をサポートするためのセキュリティ基準のフレームワークが構築されていること。	PO8.2 DS5.2	1	例)「情報セキュリティーポリシー」と、サポートするフレームワークとして「情報システム開発規程」「情報システムインフラストラクチャ調達規程」「情報システム運用管理規程」にセキュリティに関する規程があり、セキュリティ責任者の設置・セキュリティに関する組織構造・役割と責任・物理的セキュリティ・OSレベルのセキュリティ・ネットワークのセキュリティ・データベース、ファイルのセキュリティ・アプリケーションのセキュリティを規程している。	整備	予防	手作業	○			年	1	例)「情報セキュリティーポリシー」「情報システム開発規程」「情報システムインフラストラクチャ調達規程」「情報システム運用管理規程」に、セキュリティ責任者の設置・セキュリティに関する組織構造・役割と責任・物理的セキュリティ・OSレベルのセキュリティ・ネットワークのセキュリティ・データベース、ファイルのセキュリティ・アプリケーションのセキュリティが、全て規程されていることを確認する。			
		情報セキュリティー方針が全ての経営者、従業員に周知されていること。	DS5.1 DS5.2	1	例)「情報セキュリティーポリシー」は社内電子掲示板で全員が参照可能になっている。改訂があった場合は全社員へ通達する。 IT部門では、電子掲示板の機能を利用して閲覧状況を把握し、見ていない社員に対して閲覧を督促している。	整備	予防	手作業	○			随時	1	例)「情報セキュリティーポリシー」が社内電子掲示板で全員が参照可能になっていることを確認する。電子掲示板の機能を利用して閲覧状況を把握できる機能を確認し、現時点で経営者、従業員全員が閲覧していることを確認する。			